

図書館就職記

島根県立図書館次長 常松郁生

図書館など数えるほどしか入ったことのない人間が、その図書館勤務を仰せ付かって2カ月近くになるが、何かぼんやり過ぎてしまったようだ。

門外漢からみれば図書館というところは好きな本を借り出すところとしか考えていなかった。いわんや来館者の皆さんのお世話をしたりなどとは思いつきもしなかった。

そうは言っても自分でも何かしなければならぬ。手始めに資料室に入り思いつくまま本を引っ張り出しては直ぐ元へ返すというようなことをした。(もっとも、その中従前から興味のあった「生姜の作り方」だの「竹の枯らし方」だのといったものを読む機会に恵まれた。)それから窓際の机に肘をついて外を眺めると、椿谷のしたたるような緑が眼に沁みるのであった。——そういえば椿谷にはヒトツバタゴだのネコノチチだ

のという不思議な名札をつけた木があった。あの所以を探索してみよう、などと考えながら振り返ってみるとエプロン姿の職員諸姉が足早に通りすぎて行く。彼女達は実に潑刺と、いわば小走りとでもいうべき足取りで注文をうけた書籍を抱えて動きまわっている。恐らくどの本はどこにあるのか彼女達は諳んじているのだろう。

いうまでもなく彼女達は私の同僚である。私はふと「公僕」という文字を思い出した。公僕とは正に公務員であり、国民に対する奉仕者だと辞引には書いてある。図書館とは県民の皆さんに直接奉仕する職場なのだ。職員たるわれわれは公僕そのものではないか。——齢60才に垂んなんとして図書館職員の何たるかを悟った(ような)私は、何かひとつ県民の皆さんに奉仕させていただこうと思うに至っている。

敦煌の旅 (3) (陽関に立つ) シルク・ロード

今日の敦煌市街中心部で昔を偲ばせるものは何んにもない。聞けば5世紀の初め、西涼(せいりょう)時代の水攻め作戦で敦煌故城はすっかり砂漠の中に呑み込まれてしまったとか。それに今の町造りが行われたのも18世紀の初めだという。故城の残がいらしいものはあるが、ウイグルの美女らが弦楽に合せ、胡旋舞(こせんぶ)を踊ったであろう故城のよすがは探しようもない。

それでも、敦煌から天山北道へ行くには玉門関、西域南道へは陽関が漢代からの関所、それらの遺跡が見られると聞いてはたまらない。盛唐の詩人季白(りはく)は「漢は下る白登(はくと)の道 胡(こ・匈奴)はうかがう青海の湾 由来征戦の地 人の還るあるを見ず」と漢・匈奴の攻防を詠じ、王維(おうい)は安西に行く友に対して「君に勸(すす)む 更に尽くせ一杯の酒 西の

かた陽関を出(い)ずれば故人(親しい友)なからん」と名残りを惜んでいる。ところが、玉門関は西へ100^{キロ}余り、そこでより近い陽関だけを訪れることになった。

黄塵万丈とはこんなことであろう。未舗装の道路を先導車の後塵を拝してフルスピード、一望千里のゴビ灘(たん)には点点とラクダ草が丸く生えているだけだ。遙か遠くにラクダに乗った旅人を見付け、`月の砂漠を、と口ずさんだその時、「あっ湖だ」との車中の声。なるほど右手の地平線に湖が浮んで見えたが、それは蜃気楼。砂漠の地面が熱せられ、空気の密度差から光線が屈折して起る現象だという。かつてシルク・ロードの旅人がこの幻の湖にまどわされ、水を求めて死んでいったとか。

やがて大きなオアシスに到着、うねりの多い砂丘を登りつめると、一段と高所にそ

地域の読書普及をお手伝いしています

—幼児・児童読書普及事業 平成5～6年度は4市町を指定—

県立図書館では、昭和50年代から、親子読書普及事業・子供読書普及事業を実施して本の読み聞かせや地域の子供読書会の育成など、幼児・児童の読書普及を進めてきました。

平成3年度からは、これに続くものとして幼児・児童読書普及事業を進めており、順次、4市町村ずつを指定し、2年間重点的に指導・援助を行なっています。

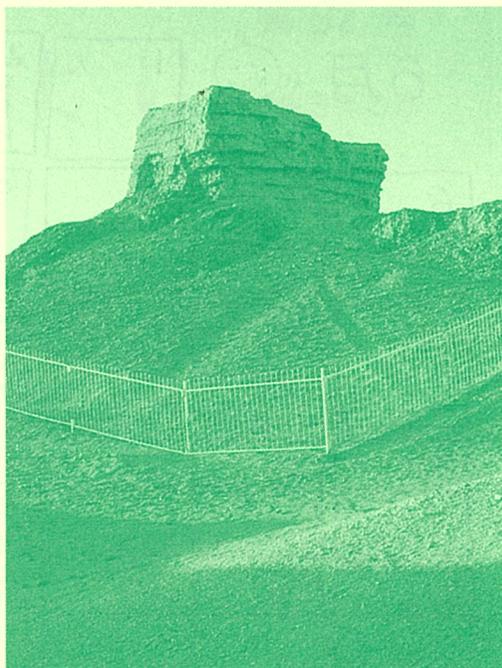
平成5～6年度は、斐川町、大田市、石見町、益田市の4市町を指定しました。

指定を受けた地域の教育委員会と連携し

て、指導員の派遣、図書の貸出などにより親子読書活動・子供読書会活動の推進をはかっていきます。



そり建つのが漢代の烽火台。幾度が狼煙(のろし)をあげて匈奴襲来の急を告げたことであろう。王維の友人もここで覚悟を改め、インドから帰り着いた玄奘法師もこの烽火台を遠望、敦煌近しと安堵したことであろう。それにしても、漢代から今まで二千年余、さして崩れもせずに立っていた。近寄って見ると、明らかに版築(はんちく)工法で築かれている。それは遠く殷(いん・前1550~1050)代に始まったとか。板で木わくを作って土をその中に盛り、一層ずつ杵で突き固めるもの、漢代の長城造りもそうだという。それにしても、古代出雲が誇る出雲市の大念寺古墳と築山古墳は共に版築工法で造られている。そのご先祖さまに敦煌でお会いするとは、日中文化交流の古さが知られるというものだ。



(陽関の烽火台)

新 着 案 内

『超常現象の謎に挑む』

コリン・ウイルソン監修
教育社 6,980円

幽霊や妖精は実在するのでしょうか。また、UFOは？この本では、世界各国で実際に起こった不思議で奇怪な事件や現象を数多く取り上げ、紹介しています。「ツングースカの爆発」「コッティングレイの妖精」などの、社会を騒がせた事件の実態に迫ります。

退屈している人、怖いもの見たさの人を、科学も常識も通用しない超常現象の世界にご招待します。

『マルセランとルネ』

ジャン・ジャック・サンペ著
リポポート 2,266円

マルセランは何故かすぐ顔が赤くなってしまう少年。バイオリンの名手ルネはすぐにクシャミがでてしまう。2人はとっても気が合って、本当にかげがえのない親友でした。そんな2人の友情をテーマに、出会いと別れ、そして再会がこまやかに描かれています。楽しくて、最後にはちょっとほろっとさせられる、大人のための絵本といえるでしょう。

利 用 案 内

- 休館日 毎週月曜日・国民の祝日
毎月末日(月末が日曜日にあたる時はその前日)
年未年始 12月28日~1月4日
- 貸出し 冊数…5冊以内
期間…15日

- 開館時間 9時~18時
子ども室は火曜日~土曜日は13時~18時
ただし、小・中学校の週5日制導入に伴い、第二土曜日は午前9時から開きます。
- 島根県立図書館 〒690 松江市内中原町52
TEL (0852) 22-5734
FAX (0852) 22-5728

行事予定

6月		1 火	2 水 親子で絵本と読む会 15:00~16:00	3 木	4 金	5 土 古文書と読む会(近世) 14:00~16:00
6 日	7 月 休館日	8 成人読書会 13:00~15:00	9 休館日 (国民の休日)	10 万葉集と読む会 14:00~16:00	11 出雲国風土記と読む会 13:00~15:00	12 子供読書会 10:00~11:30
13	14 休館日	15	16 親子で絵本と読む会 15:00~16:00	17 図書館特別整理のための臨時休館	18	19 古文書と読む会(中世) 13:30~15:30
20	21	22	23 親子で絵本と読む会 15:00~16:00	24	25	26
27	28	29	30 休館日			

◎ 館内資料展示…「景観・自然環境・まちづくり資料」

7月		1 木	2 金	3 土 古文書と読む会(近世) 14:00~16:00
4 日	5 月 休館日	6 火	7 水 親子で絵本と読む会 15:00~16:00	8 万葉集と読む会 14:00~16:00
11	12 休館日	13 成人読書会 13:00~15:00	14 親子で絵本と読む会 15:00~16:00	15
18	19 休館日	20	21 親子で絵本と読む会 15:00~16:00	22
25	26 休館日	27	28 親子で絵本と読む会 15:00~16:00	29
				30
				31 休館日

◎ 館内資料展示…「国際交流と留学」

※各種講座は講師の方の都合により変更する場合があります。

編集発行 島根県立図書館 松江市内中原町52 TEL 0852-22-5725
発行日 平成5年5月31日 FAX 0852-22-5728